

## 多くの人が関わりあい、まちを元気にする

長崎伝習所は、昭和 61 年に人材のネットワークづくりと地域の活性化を目的として設立いたしました。その名称は、幕末に多くの人材を輩出した「海軍伝習所」「医学伝習所」などに由来し、長崎の活性化につながる人材育成の場になるようにとの願いが込められています。



長崎伝習所の柱である『塾事業』では、これまでに、284 もの塾が長崎のためを思い、様々な活動を行い、卒業した塾生の総数は延べ 9,860 人に達しています。これら塾の中には、卒業後もそれぞれで活動をし、「市民力」を発揮しながら、長崎のまちづくりに貢献していただいている方々が多数いらっしゃいます。

令和元年度は、長崎で 4 つの塾、東京で 1 つの塾が、長崎のまちづくりに関する取り組みを行いました。「ながさき こと(言)・おと(音)塾」は長崎に関連した物語を通し地元愛を育むきっかけづくりを、「ながさき未来塾」は将来の長崎を支える担い手の育成を、「のもざき未来塾」は地域資源の再確認や理解に基づいた活用方法を、「ながさきドローン塾」はドローンのまちづくりへの活用を、「長崎・野母半島パワースポット発信塾」は長崎・野母半島の魅力の掘り起こしを、各塾が長崎の個性や特長を活かしながら、それぞれの目標に向かって調査研究に励みました。

いずれの塾も、職域、地域や世代を超えた多様な人々が参加し、まちづくりにつなげたいとご尽力いただきましたが、令和元年度は、大学生や高校生など若者が中心となり、それを大人が側面から支援する新たな塾の形も生まれました。

これからは、ICT の進化がライフスタイルをはじめ、社会に大きな影響を与えていくと考えられますが、今後、情報発信の在り方などにおいて最大限に生かしながら、これまでの人と人との関わりあいを大切にする、市民が中心となった元気なまちを目指していければと感じています。

令和 2 年、長崎伝習所は開所から 35 年目を迎えます。長崎伝習所のもう一つの柱である『つながり事業』では、国内外の第一線で活躍されている方々の講演を拝聴する「自分新化講座」を開催するなど、時代の変化に対応した事業に取り組んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、塾長をはじめ塾生の皆さまのご努力と、お忙しいなかご指導いただきました運営委員の皆さま、並びに、長崎伝習所の活動にご協力をいただきましたすべての皆さまに対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

長崎伝習所総長 田 上 富 久

## 運営委員からのメッセージ



●運営委員 座長 兵働 馨

長崎伝習所は今年で設立から 35 年を迎えます。この間の様々な社会情勢の変化により塾のテーマや塾長の経歴、塾生の構成も変化してきました。また、市民によるまちづくりへの関わりや市民活動も変化してきました。今、長崎伝習所も変化の時ではないでしょうか。長崎伝習所のキャッチフレーズ「時代の半歩先を行く 長崎の未来を創る」為にカエル、カワルそして新化する。新しい長崎のまちづくりにむけて、長崎伝習所で一緒に活動しましょう。



●運営委員 岡 清香

平成から令和へのうつり変わりと同様に新しい時代の風を感じる塾が勢ぞろいの年でした。後半は新型コロナウイルスの影響を受けながら大変な活動期間だったと思います。伝習所まつりでの発表は私も楽しみにしておりましたが開催叶わずとても残念でした。そんな中、可能な範囲で皆さんのこれまでの成果を発信されてきたことは今後の活動や日々の生活に大いに活かされることでしょう。長崎のどこかで皆さんのご活躍にお目にかかれますよう、これからのご活躍期待しております。



●運営委員 河村 規子

塾生のみなさん、一年間お疲れさまでした。中間報告会で、みなさんの素晴らしい活動状況をお聞きし、後半の活動も楽しみにしていましたが、コロナの影響で思うような動きができません、大変だったことでしょう。さらには実績報告の場である伝習所まつりが中止になり、残念でしたね。でも、離れていても気持ちは一つ。今の状況が好転することを願い、引き続き長崎市の明るい未来のためにがんばっていきましょう。



●運営委員 尋木 章弘

九州新幹線長崎ルート of 暫定開業を控え、JR長崎駅周辺など長崎市街地の再開発がダイナミックに進んでいます。少子高齢化で人口減少は避けられませんが、少しでも住みよい魅力的な地域にしていくことが求められています。そのためのアイデアやヒントを提供していくことも長崎伝習所の役割だと思います。各塾の活動を見ても、たくさんのヒントがあります。令和元年度は特に若者たちの取り組みに接して目が覚める思いでした。伝習所の良き伝統の中に新鮮なアイデアを取り入れて、さらにステップアップしていきましょう。



●運営委員 豊田 菜々子

本年度は新しい元号に変わり、時代も大きく変わった年であったなと感じます。塾長の皆さんが提案されるテーマとして「地域にある歴史や文化、自然環境を守ること」「今の時代に必要なこと」を深く考えさせられるものが多かったように思います。新しい時代の変化を捉えながらも且つ変わらないでいて欲しいものを守るのは、両極端でとても難しいですが、とても大事なことです。近年の塾活動では、塾同士でお互いに一緒に協力してできる活動があるのではないか？という意見が出るようになっていたので、とても良い雰囲気だなと思っています。来年度も皆さんの活躍を楽しみにしています。